

# 平和台団地共助プラン

国際コミュニティ学部 地域行政学科  
荒上咲良 加藤瑠菜 小原瑞稀 林陽花

## 目次

①対象地域の説明

②地域の抱える問題

③活動内容

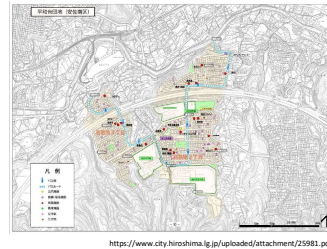
④解決策の提案

⑤活動成果



## 対象地域

【広島県広島市安佐南区平和台団地】



- ・約1,000世帯
- ・人口約2,500人
- ・65歳以上の人口約40%
- ・保育園～高校まで教育機関が全て団地内にある
- ・団地内に1時間4本バスが走っている
- ・空き家多数

➡ 高齢が進む暮らしやすい団地



- ① 町内会への加入率減少、消滅の危機
- ② 避難時の際に連携がとりにくい

## 現在抱えている問題

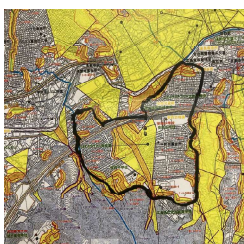
① 町内会への加入率減少、消滅の危機



- ・総世帯数は大きく減少はしていない
  - ・会員世帯数は年々大幅に減少
  - ・加入率は平成22年に90%をきり、令和4年には79%まで低下
- 〈理由〉加入によるデメリットの方が大きい

## 現在抱えている問題

② 避難時の際に連携がとりにくい



- 〈現状〉
- ・団地内に土砂災害警戒区域あり
  - ・180世帯が避難区域に住んでいる
  - ・しかし、なかなか避難してくれない
- 〈理由〉・危機感が薄い
- ・現状を広く周知できていない



- 〈町内会会員数の減少〉
- ・逃げ遅れ把握が難しい
- ・避難支援員の不足



- ① 実情を知る
- ② 視察
- ③ 会議

## 活動内容

### 活動内容①

実情を知る

平和台団地の会長松田弘生さんに大学へお越しいただき  
平和台団地の課題についての説明をしていただきお話を聞く

### 活動内容②

視察

・町内会や地域の活動についてお話を聞く  
・平和台団地を散策し実際の様子を自分の目で知る

### 活動内容③

会議

活動①・②を踏まえて  
解決策についてメンバーで話し合う



### 解決策の提案

- ① 町内会業務の委託
- ② 防災のスタンプラリーを実施
- ③ 避難グッズの使用

## 提案① イベントのポスター作成をお願いする

〈現状〉

町内会理事の負担軽減の取り組みがされているが、広報部のお仕事（イベントポスターや広報誌の作成）が大変

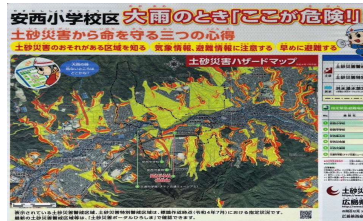
➡ **行事などの町内会の必要なポスターの作成を中学校・高校にしてもらう**

〈効果〉

- ・業務の負担を軽減
- ・町内会と生徒のつながりを強化
- ・生徒が作ることで若い人の気を引き付けるようなものが作れる
- ・生徒にも新たな活動の場を得られるというメリット

## 提案② スタンプラリーを制作

### 避難経路確認のスタンプラリー



埼玉県新座市の石神・北原・堀之内の3つの自主防災会では年に1回合同防災訓練を行っている

その中で、「スタンプラリー形式」で、避難所用のダンボールハウス作りや、新聞紙を使った簡易スリッパ作りなどの企画などを体験して回れる。それだけでなく校区内20か所の避難所を、児童や保護者が実際に歩いて確認する「ウォークラリー」が行われている

このように実際に行われている他の町内会の取組を参考にして平和台団地でスタンプラリーを行う

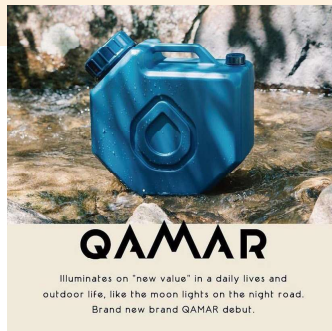
## 提案③ 避難グッズの使用

### ・避難グッズを利用した避難訓練

→ 広島銀行と連携を取り、広島銀行の防災課と繋がりを持つことで、実際に避難グッズを使用した訓練やイベントを行う

【例】 防災グッズ「QAMAR」

→ ウォータータンクとして使える防災グッズ。広口は手が入る大きさなので、ほかの防災グッズを収納することができる



引用元: QAMAR Instagramアカウント @qamar\_japan



### まとめ

活動を通しての成果

## 活動を通しての成果

### ・地域の方々とのコミュニケーションを通じた課題発見

→ 意見交換を行いながら課題に取り組むことで、考えの幅や、物事を捉える際の視野を広げることができた

→ たくさんの考えをまとめて結論を導き出す力がついた

### ・情報分析能力の形成

→ 解決案を考える過程において、対象地域で活かすことのできる事例を探すことで、より具体的な案を練ることができた

→ 協力頂いた方々との話し合いを通じて、情報を吟味し方向性を明確にすることができた

### ・政策の認知と利用

→ 広島市が現在行っている地域支援政策について知ることができた

【例】ひろしまLMO(エルモ)：防災、防犯、福祉などの面において地域を援助する制度



ご清聴ありがとうございました

